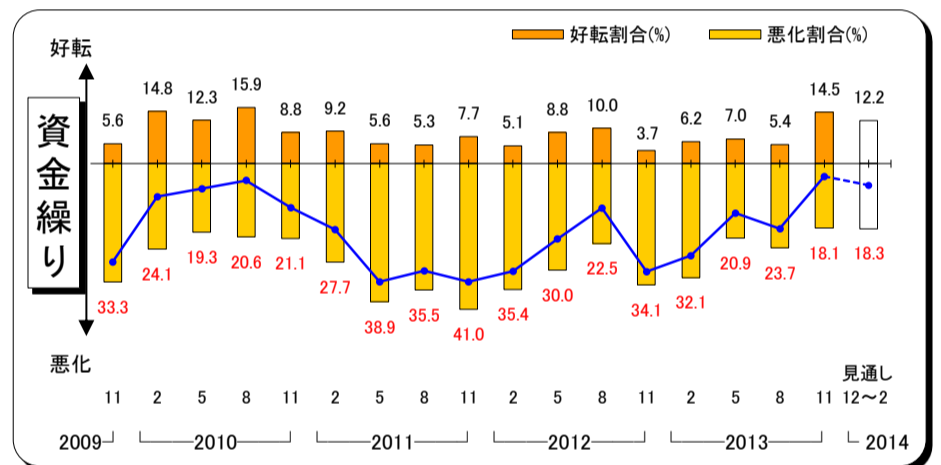
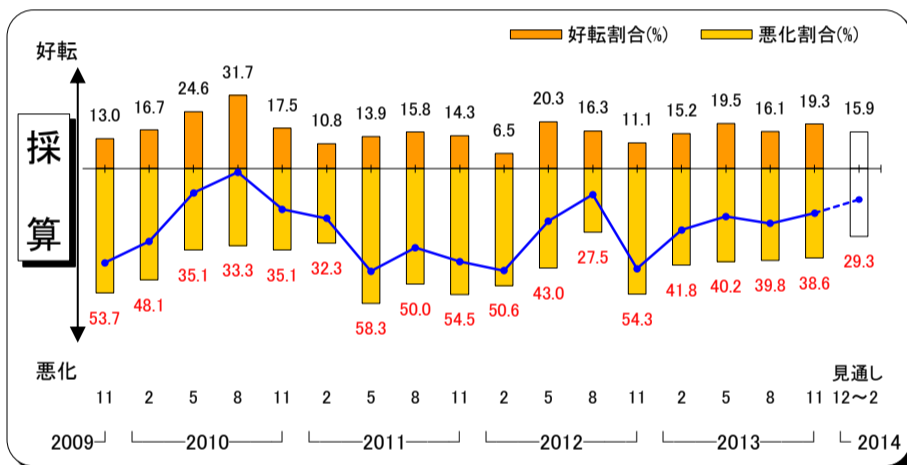
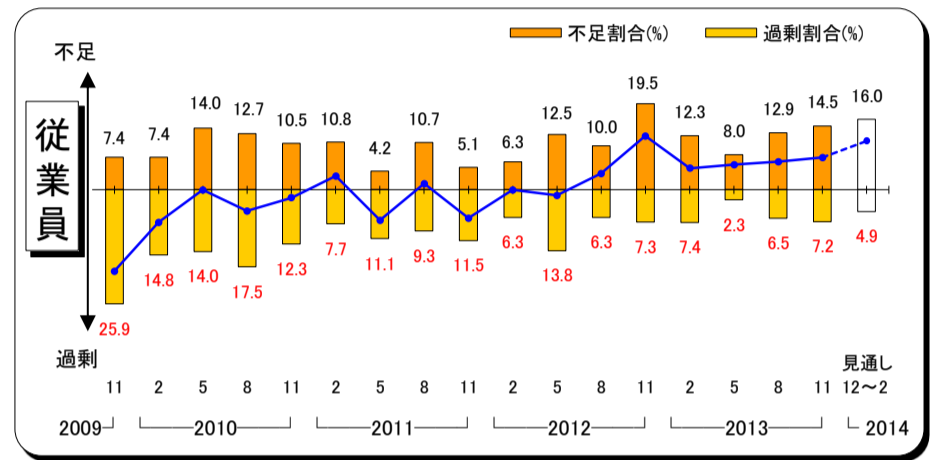
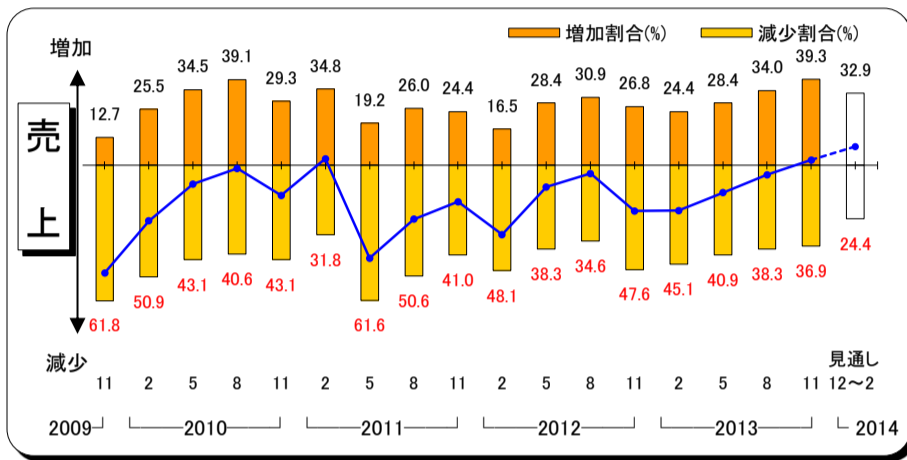
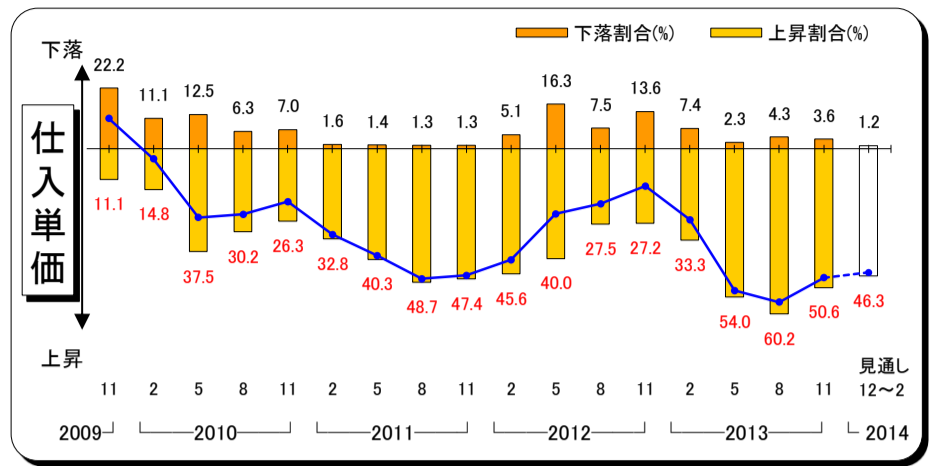
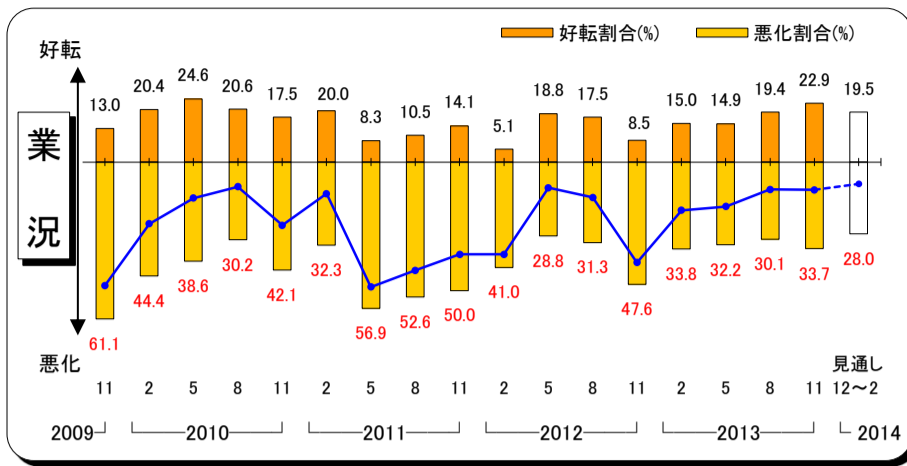


【製造業】①



【製造業】②

企業の声（順不同）

帆布製品製造業	台風 26 号による被害等でテント業界全般に仕事が増えているようです。
パルプ・紙・紙加工品製造業	原油などの価格上昇の影響で、原材料価格が年明けに上昇する可能性がある。
オフセット印刷業	仕入単価は上昇を続け、販売単価は下落を続けています。
オフセット印刷業	現状を考えると仕事量が減少している。ペーパーレスが推奨される時代となり、パソコンによる仕事が多くなっている。
印刷業	売上の先行きは見通せない状態。季節要因で、この先3ヶ月は減少すると思われる。
生コンクリート製造業	大型物件が減少し、原材料費の値上げが予定されていることもあり、売価を上昇させることは難しい。
コンクリート製品製造業	自民党政権になって当初は期待していましたが、民主党政権の方がましだった、という業界の仲間の声があります。仕入価格は大体横ばいで、売上が伸びないことが致命傷です。来年からの消費税率アップは業界一致しての心配事です。
鉄鋼業	コストダウンを推進しております。
建設用金属製品製造業	人材の育成、東京オリンピック開催決定に伴う公共工事の動向に注視している。
建設用金属製品製造業	7年後の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、建設関係の仕事が増える見通しであるものの、今の時点ではまだまだの感じです。ある面、相乗効果を期待しているのですが、それまで辛抱です。
製缶板金業	取引先における原料調達が台風等の天候不順で不調であり、受注減となっている。
食品機械・同装置製造業	為替の影響で輸入品の金額が上がっているが、それを売値へ反映できないために採算が悪化している。
金属工作機械製造業	建機業界は少し良くなり安定に向かう？ 少し苦しいが、単価の値引きもあり、新機種で採算が持ち直す見込みで、新事業の立ち上げ（26年1月）も予定しており、経営安定化に向かう。
生産用機械・同部分品製造業	下期の景況感は好転しているが、先見性に乏しく安定成長路線には到達していないようだ。今後の中小企業施策に期待する。
サービス用機械器具製造業	新規案件は減少し、回復の見込みが無い。新たな収益事業開拓へ取組中。
理化学機械器具製造業	国内および海外とも受注が低迷しており、先行き不透明で厳しい状況が続きそうである。
集積回路製造業	先行き見通しについて、現時点ではわかりません。デバイス工場から情報を得て、契約先まで持って行くことが出来るかです。企業は、数か月前より景気回復している事は確かです。
電力開閉装置製造業	思った程の売上が出ていない。今後企業努力でどこまで戻せるか、また、伸ばせるかが課題である。好材料はあるように思われる。
看板・標識機製造業	消費税の関連した個人消費の動向、および金融機関の動向に注目している。